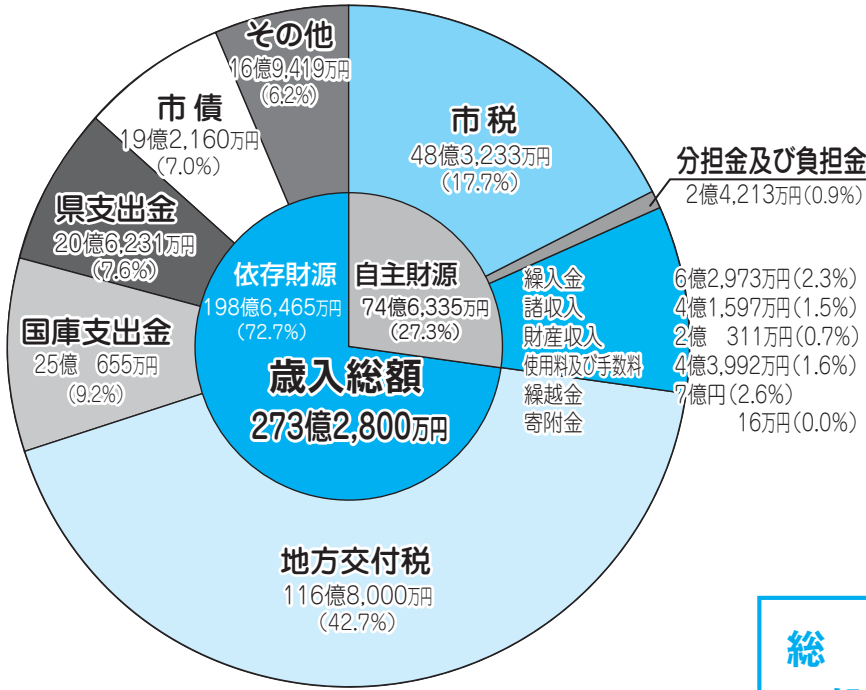


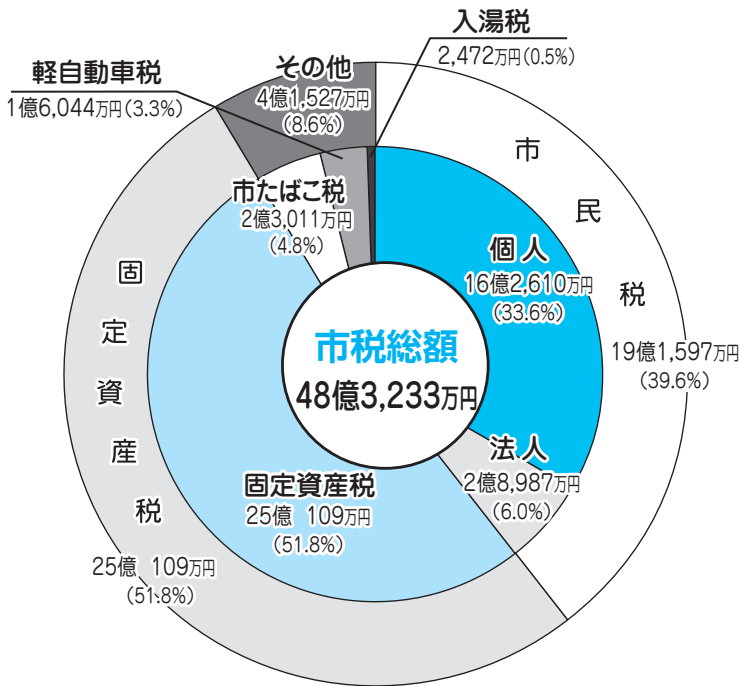
一般会計 歳入の内訳



令和4年度 当初予算

総額	503億2,882万円
一般会計	273億2,800万円
特別会計	111億6,735万円
企業会計	118億3,347万円

市税の内訳



予算編成7つの柱

- **産業・雇用**
地域資源を活かして産業を育てるまち
- **環境・防災・社会基盤**
美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち
- **健康・福祉**
支えあい助け合う安心のまち
- **教育・文化・人づくり**
香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち
- **自治・まちづくり**
市民と行政が協働でつくるまち
- **地域振興**
個性を活かし持続可能な地域づくりを推進するまち
- **行財政運営**
健全な行財政運営を実行するまち

郡上市の令和4年度予算の総額は、約503億円。そのうち福祉、医療、教育や道路整備など、みなさんにとって基礎的な行政サービスを行う一般会計は、約273億円です。令和3年度の当初予算に比べ、3.2%の増となっています。

一般会計の歳入のうち、市税は48億3,233万円（前年度比3.4%増）、国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や公立学校施設整備費補助金の増などにより25億655万円（同16.6%増）、地方交付税は、国の「臨時財政対策債」総枠の大幅な減少と「地方交付税総額」の増額などにより116億8,000万円（同2.6%増）を見込んでいます。市債は、辺地対策事業債や臨時財政対策債の減などにより19億2,160万円（同17.0%減）となっています。

また、財源不足を補うための財政調整基金からの繰り入れを1,800万円減額しましたが、令和3年度のふるさと寄附金の増加に伴い郡上市ふるさと応援基金からの繰り入れを7,467万円、八幡城天守の耐震補強工事等のために八幡城基金からの繰り入れを5,300万円それぞれ増額したことなどにより、繰入金金は6億2,973万円（同18.9%増）と増加しました。

市税収入などの自主財源は、74億6,335万円です。全体の27.3%となっており、地方交付税や国、

《用語解説》

市税…市民のみなさんから納めていただく市税や固定資産税など

繰越金…前年度から繰り越されたお金

繰入金…基金（特定の目的のために積み立てられる資金または財産）などを取り崩して、一般会計へ繰り入れるお金

分担金及び負担金…福祉事業や土木事業などに対する負担金
使用料及び手数料…住民票などの発行手数料や市営住宅の使用料など

市債…道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（借入金）

地方交付税…国税の定率分を、市の財政状況に応じた一定の基準により、国が交付するお金

国、県支出金…国、県の施策に沿った特定の事業を行う場合などに財源として交付されるお金

人件費…職員、議員などに支払われる給与や報酬など

公債費…主に事業を行うために借り入れたお金（市債）の元利償還金

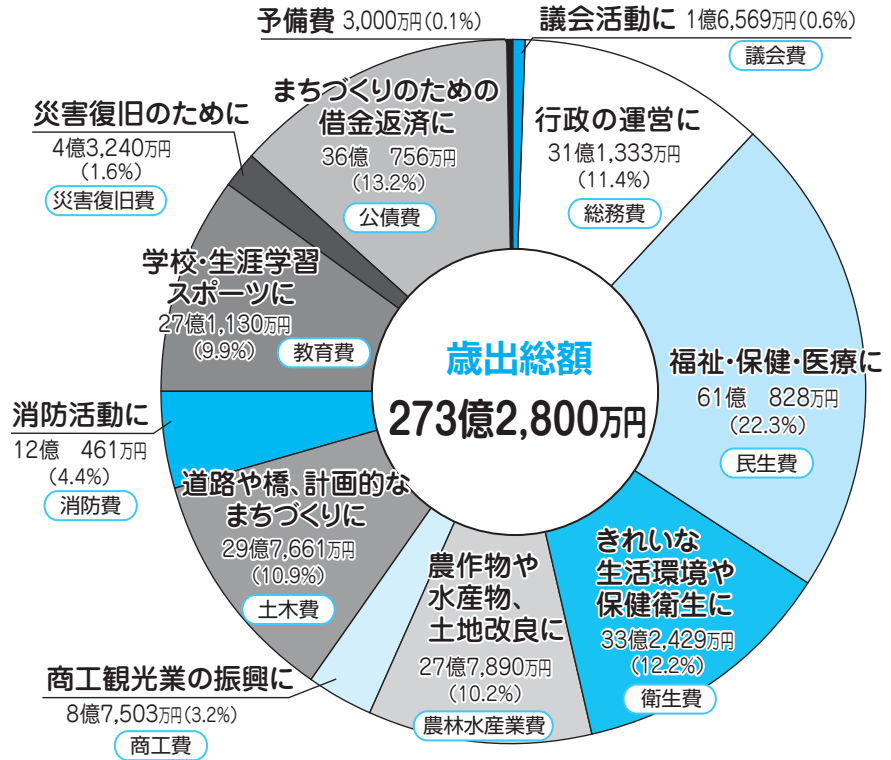
扶助費…児童や老人などの生活支援、生活保護などに使われる費用

普通建設事業費…道路や学校など、公共、公用施設の建設や整備にかかる費用

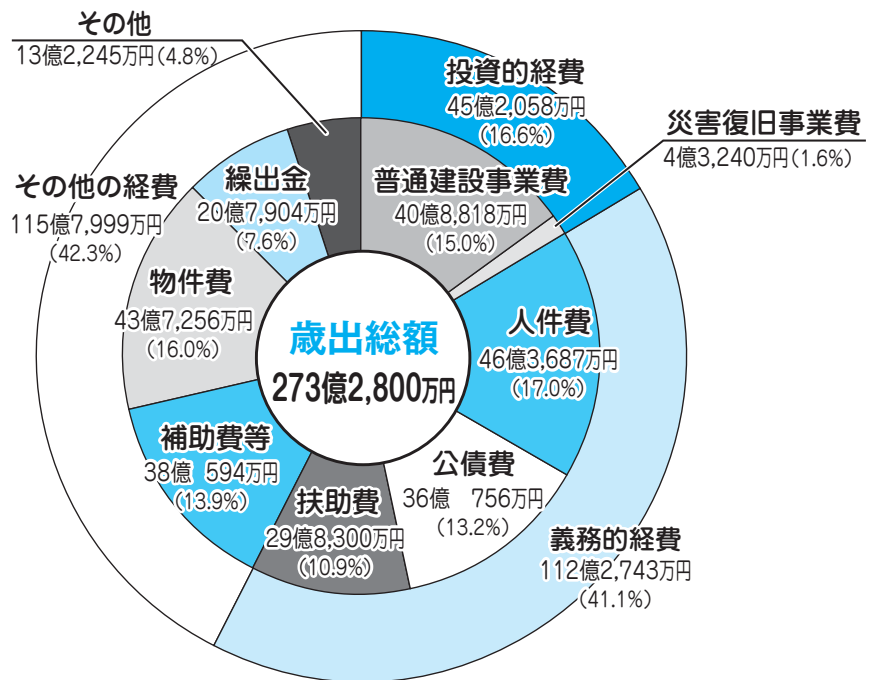
物件費…公共、公用施設の維持管理や旅費、交際費、需用費、備品の購入に充てられる費用

繰出金…一般会計から特別会計へ支出される経費

一般会計の主な使いみち



性質別の使いみち



県支出金などの依存財源の占める割合が高くなっています。歳出については、少子化対策や、高齢者などに対する福祉や保健・医療に使われる民生費が61億828万円（同0.4%増）、新型コロナウイルス（同0.8%減）と高い割合を占めています。また、道路整備など市民生活に密接する土木費は29億7,661万円（同7.9%減）となっています。その他、まちづくりの借金返済にあたる公債費は36億756万円（同2.9%減）と、歳出全体の13.2%となっています。

性質別では、人件費と公債費、扶助費を合わせた義務的経費（同1.3%減）は41.1%と高い割合を占め、普通建設事業費と災害復旧事業費を合わせた投資的経費（同16.3%増）は、小学校統合（同16.3%増）は、小学校統合、整備事業（大和小学校建設）や、市道鍛冶屋洞線の地すべり災害復旧などにより増加しています。

今後は、長引くコロナ禍の影響もあり、引き続き厳しい財政状況となることが予想されますが、財政の健全化に取り組みながらも、ウィズコロナ・アフターコロナに向けて、健康で安心して暮らすことのできる活力ある郡上市づくりを進めていきます。